

带状疱疹のワクチン

このコロナ禍のもと、たいていほいほい带状疱疹帯状疱疹の患者さんが増えている。老人だけでなく、子育て世代でも増えているという。

「32歳の娘が、带状疱疹で。顔が半分麻痺まひして」と嘆くのは、65歳のA子さんだ。「きっと、コロナのせいよ」と決めつけている。が、それはどうか？

带状疱疹というのは、水ぼうそうのウイルスである水痘・带状疱疹ウイルスが原因だ。免疫力の低下したひとが発病する。コロナが関係するとすれば、コロナ禍のストレスや生活習慣の変化による免疫力低下が原因かもしれない。

带状疱疹が増えた主な理由は、子供に行う水痘ワクチンの予防接種のようである。ワクチン接種のおかげで、子供に水ぼうそうが流行しなくなった。ということは、大人の水痘・带状疱疹ウイルスに接する機会が減るということだ。もともとの免疫力は、年とともに落ちている。そのうえ、ウイルスに接しなければ、免疫の再活性化がされない。で、老人のウイルスに対する免疫力が低下し、带状疱疹を発病しやすくなったというのである。

子育て世代に带状疱疹が増えた理由も同じだ。本来なら、免疫の再活性化が盛んに行われる環境にいる。が、水ぼうそうが減って、再活性化のもとになるウイルスが減った。で、免疫力も落ち、若いひとにも带状疱疹が増えたというわけだ。良かれと思っていたことが裏目に出ることはよくある。コロナ禍で、外出しない。マスクをする。ソーシャルディスタンスを取るなどのコロナの感染対策も、免疫再活性化の機会を減らす追い風になったのかもかもしれない。

「センセ。コロナに、肺炎。インフルエンザに带状疱疹まで。ワクチンで、体がおかしくなりそう」とA子さん。でも、带状疱疹の発病や重症回を防ぐには、今のところ、50歳過ぎのひとのワクチン接種しか手がないのだ。「メン」。

(石黒修三 しいしほろクリニック・脳神経外科専門医・1/17北國新聞掲載)